

宿泊旅行統計調査（平成23年1月～12月）が公表される ～平成23年の延べ宿泊者数は前年比やや減少～

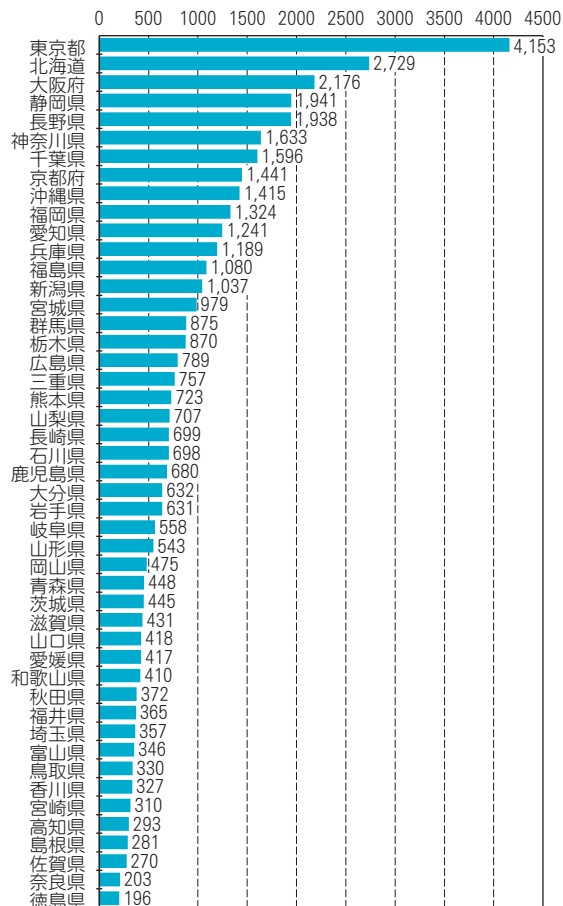
観光庁が発表した「宿泊旅行統計調査」によりますと、平成23年（1月～12月）の延べ宿泊者数は4億1,723万人泊で、前年比3.0%減となりました。平成23年の外国人延べ宿泊者数は1,842万人泊で、前年比34.8%減となりました。

観光目的の宿泊者が多い宿泊施設においては、年間を通じて延べ宿泊者数が前年を下回っています。ビジネス目的の宿泊者が多い宿泊施設においては、第2四半期までは延べ宿泊者数が前年を下回っていましたが、第3四半期以降は前年を上回っています。

1. 都道府県別延べ宿泊者数

- ①延べ宿泊者数は4億1,723万人泊（前年比3.0%減）。
- ②都道府県別延べ宿泊者数は東京都、北海道、大阪府、静岡県、長野県の順で、上位5都道府県の全国でのシェアは3割超。
- ③奈良県の延べ宿泊者数は203万人泊で第46位。

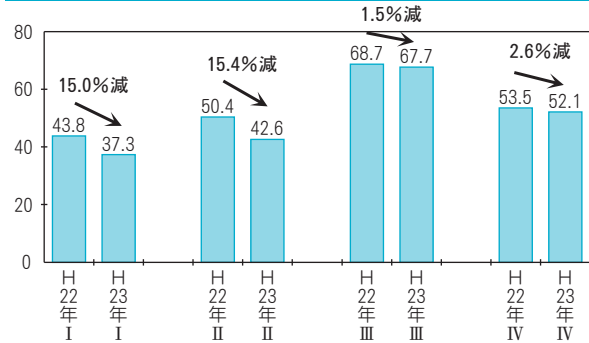
都道府県別延べ宿泊者数（平成23年）（万人泊）



2. 宿泊目的割合別延べ宿泊者数

- (1)「観光目的の宿泊者が50%以上」の施設
- ①延べ宿泊者数の前年同期比…第1四半期15.0%減、第2四半期15.4%減、第3四半期1.5%減、第4四半期2.6%減。

(百万人泊)「観光目的の宿泊者が50%以上」の施設の前年同期比



- ②奈良県の状況を見ると、第1四半期を除き全国を大きく下回っている。これは、平成22年は平城遷都1300年祭が開催され観光客を中心に宿泊客が増加した。平成23年は、その反動減と思われる。なお、近畿地方の他府県の状況は以下の表のとおり。

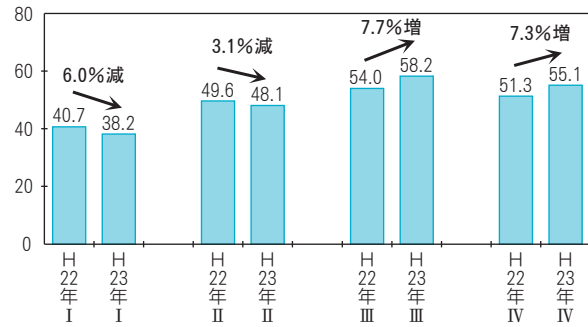
宿泊目的割合別延べ宿泊者数 都道府県別前年同期比（近畿地方）

	観光目的の宿泊者が50%以上の施設			
	前年同期比			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全国	-15.0%	-15.4%	-1.5%	-2.6%
奈良県	-8.0%	-26.9%	-39.0%	-36.6%
滋賀県	-7.5%	-12.4%	-11.5%	17.5%
京都府	-3.1%	-5.4%	0.8%	9.8%
大阪府	5.6%	-26.5%	-5.8%	-29.0%
兵庫県	-8.3%	-17.1%	-9.9%	-7.6%
和歌山県	-16.9%	3.6%	9.6%	-27.6%

* 網掛けは全国より上の数値

- (2) 「観光目的の宿泊者が50%未満」の施設
- ①延べ宿泊者数の前年同期比…第1四半期6.0%減、第2四半期3.1%減、第3四半期7.7%増、第4四半期7.3%増。

(百万人泊)「観光目的の宿泊者が50%未満」の施設の前年同期比



- ②奈良県の状況を見ると、すべての四半期で全国を下回る。平城遷都1300年祭による一時的な宿泊客増加の反動減が影響しているものと思われる。なお、近畿地方の他府県の状況は以下の表のとおり。

宿泊目的割合別延べ宿泊者数 都道府県別前年同期比(近畿地方)

	観光目的の宿泊者が50%未満の施設			
	前年同期比			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全国	-6.0%	-3.1%	7.7%	7.3%
奈良県	-58.5%	-64.9%	-46.8%	-6.1%
滋賀県	-8.7%	18.1%	15.1%	1.9%
京都府	22.5%	-12.2%	15.9%	20.9%
大阪府	-7.0%	-3.6%	12.0%	4.9%
兵庫県	-7.6%	12.4%	25.9%	16.1%
和歌山県	17.0%	-5.3%	3.2%	7.7%

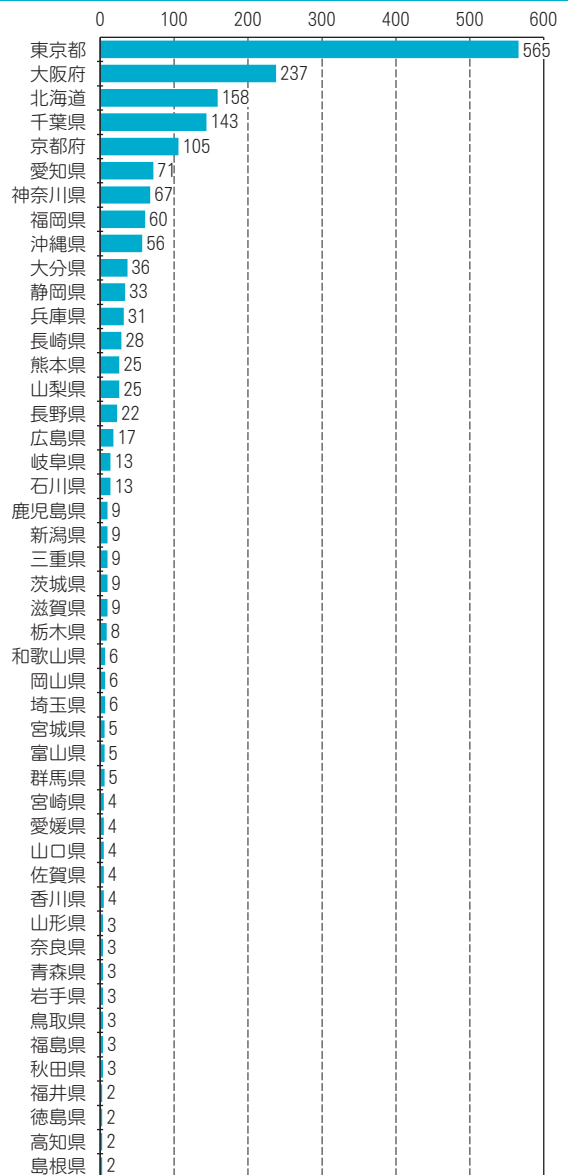
* 網掛けは全国より上の数値

※「観光目的の宿泊者が50%以上」の施設とは、最近1年間に訪れた宿泊者の宿泊目的を「観光レクリエーション」と「出張・業務」に分けた場合、「観光レクリエーション」が50%以上を占める施設である。

3. 外国人延べ宿泊者数

- (1) 都道府県別外国人延べ宿泊者数
- ①延べ宿泊者数は1,842万人泊。
- ②都道府県別延べ宿泊者数は東京都、大阪府、北海道、千葉県、京都府の順であり、上位5都道府県の全国でのシェアは6割強。
- ③奈良県の外国人延べ宿泊客数は34,560人泊で第38位。

都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成23年)(万人泊)



- (2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

- ①国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、中国、韓国、台湾の順で、上位3か国(地域)で全体の4割強を占める。

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(平成23年)

